

総合的な学習の時間 学習活動案

学習を通して培う国際理解能力
④異文化理解
⑤コミュニケーション能力
⑥連帯意識

学校名 釧路市立柏木小学校

児童 第5学年1組 男子10名 女子13名

授業者 教諭 塚田 裕子

1. 単元名 「春採湖をもっと知ろう ～世界に目を向けて～」

2. 単元の目標

- ・湖の環境保全のあり方について関心をもち、多様な方法で調べる意欲やよりよい未来に向けて行動しようとする態度を育てる。 【関心・意欲・態度】
- ・身近な環境問題を地球レベルの問題としてとらえ、よりよい未来に向けて行動しようとする態度を育てる。 【思考・判断】
- ・さまざまな情報手段を活用する力を育て、コミュニケーションを深める。 【技能・表現】
- ・世界でも春採湖と同じような問題や対処の仕方があることがわかり、地球共通のものとしてとらえることができる。 【知識・理解】

3. 単元について

(1) 児童の実態

子ども達は、1年生から学習活動の中で春採湖の自然環境に親しんでおり、動物や植物に興味・関心を持ち、その課題の解決に向け、最後まで熱心に取り組む姿勢が育ってきている。

5年生では、今までの学習を土台として、春採湖の環境保全や人々の暮らしとの関わりについても理解を示し、積極的に行動しようとする意欲的である。また、1学期に実施された南太平洋諸国の方々やベラルーシから来校の児童との交流が子ども達の心を広げ、世界に向けて自分達にもできる役割を考えようとする意識が高まってきている。

総合的な学習の時間では、課題解決に向けて本やインターネットを活用し、レポートやパソコン（パワーポイント）などでまとめた。パソコンについては、低学年から家庭や学校で使用する頻度が高く技術的にも優れている。発表の中では話し方の工夫を意識し、友達の発表にも興味を持って聞くようになってきた。さらに、相互の思いや考えを交流し、他を尊重する心をもちつつある。

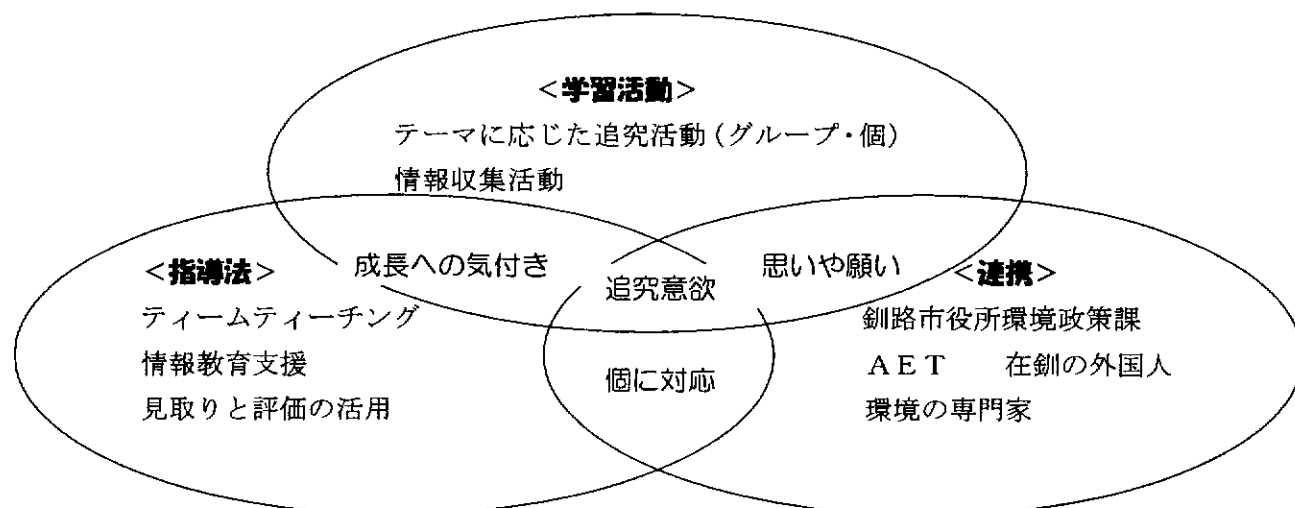
(2) 単元構築の工夫

①学習材活用のねらい

前半の単元「春採湖をもっと知ろう ～みんなの憩いの場～」では、春採湖の豊かな自然環境づくりと人々の生活との関わりについて、学ぶことができた。また、外国人との交流も、子ども達の考えを広げる大きな役割を果たした。

これらの学習活動を基に、同じように諸外国でも環境保全に努力していることに気づくことをねらいとして湖を取り上げ、「自分」と「地域」、「世界」との出会いを実感できる教材化した。また、グループに分かれグループ内で協力しながら学習活動を行ったり、グループ同士の情報交換を行ったりすることによって相互の思いを融合しなら課題解決に向けていくことができるような単元の構築化も図った。

②学習法の工夫



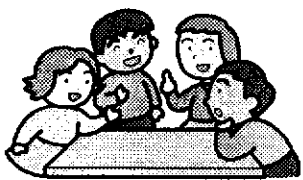
③ものの見方・考え方の育成

《広め合い交流》
・春採湖から学んだことをもとに、世界の湖の様子や取り組みについて関心をもつ

汚れたままの湖で困っていると
ころもあるのではないかな
世界にはたくさん湖があるね

春採湖と同じ方法で取り
組んでいる湖はあるかな

みんなの憩いの場としての湖も
あるよね
環境を守る取り組みをしている
湖は、どんな湖かな
世界の湖にも環境問題があ
るのかな？



方 法	教材教具の工夫
・春採湖について調べてわかったことを、教育機器を活用してまとめ、発表し合う ・発表したことをもとに世界の湖に関心をもつような話し合い活動を行う	・地図・カードの提示 ・ワークシートの活用

④単元と他領域・教科との関連

a 総合的な学習の時間	b 国際理解教育	c 社会
1・課題発見能力 2・自ら学び自ら考え主体的に考える力 3・自分の思いを伝える表現力 4・見通しを持つ力	1・コミュニケーション能力 2・連帯意識・協調 3・他国の理解	1・観察・資料活用 の技能・表現

(3) 子供の見取りと評価

<見取り方の手立て>

- ①ワークシート…活動への見通しの持ち方や活動の変容を見取る。
- ②製作物…伝えようとすることを相手に合わせて工夫することができたか見取る。
- ③行動観察…話す・聞く態度、調べ学習の様子などを見取る。
- ④振り返りカード(自己評価カード)…活動への意欲を見取る。

4. 単元学習計画 (28時間扱い)

時数	学習課程	育てたい力	学 習 活 動 ◆国際理解に関わる活動	見取り	☆評価規準 *支援
1 2 本 時	課題 発見	課題発見能力	◎春採湖からの学び ・春採湖の歴史 ・環境保全の取り組み ・春採湖は憩いの場 ◆南太平洋諸国の方々との交流したことを確認する ◎春採湖からの学びを広げる ・世界の湖に目を向ける ◎これからの学習の見通しを持つ	行 ワ	*教育機器を利用する ☆世界の湖に目を向けることができる ☆課題設定に向けての見通しを持つことができる *ワークシートを活用させる
3 5	課題 設定	見通しを持つ力	さがしてみよう！世界の春採湖 ◎追究交流する ・さまざまな湖で環境問題があるようだ ・環境保全に対してどのような取り組みをしているのか ・国や地域によって違うのではないか ・調べる湖を考える ・グループごとに分かれて調べよう ◎グループのテーマ決定 (個人テーマも)	ワ 行	☆調べたいことのテーマを決定することができる ☆追究活動の見通しを持つことができる *調査観点は統一する
6 15	追 究	コミュニケーション能力	◆調査活動 ・本 ・インターネット ・AET ・新聞 ・テレビ ・ビデオ ・在釧の外国人 ・環境の専門家 ・公共施設 (市役所や図書館など) ◎グループでの学習活動 ◎グループ同士の情報交換	ワ 行	☆調べることを整理して情報を集めることができる *情報交換の指導・支援 (インターネットの利用)
16 25	まとめ	資料活用 の技能・表現	◎調べたことを発表する ●準備 ・情報の整理 ・発表に向けて ◆発表会 ・各国の取り組み状況を比較して聞く ・春採湖の取り組み、よさを再認識する ・お互いの活動のよさに気づく	行 製 ワ	☆自分や友達のよさに気がつくことができる ☆春採湖のよさに気がつくことができる *発表に向けての助言
26 28	発 展	連帯意識・協調 他国の理解	◎発表会で気づいたことの交流 ・湖の環境問題はどこにでもある ・環境はみんなで守らなければならない ・環境問題は他にもたくさんありそう	ワ 行	☆環境保全の大切さを自覚して伝えることができる ☆よりよい環境との関わり方を目指そうという思いを持つこと

